



# 精進

H30. 5. 2

新年度が始まり約1ヶ月が過ぎました。この1ヶ月、慌ただしい生活でしたが、ここで一度頭の中を整理しましょう。今回は、以前本校のPTA講演会にお越しいただいた「中村文昭」氏の話の中で特に印象に残っている話を紹介します。講師の中村文昭氏は、高校卒業後、地方から上京し生涯の師匠と思える人に出会い、生き方、考え方を正しながら改善し、現在、多くの人のために活躍されています。「頼まれごとは 試されごと」の言葉で有名な方です。今後役立つと思いますので、是非、参考にしてください。

〈実際の話です〉

夏の非常に暑い日、師匠を尋ねてこられたお客さんのためにジュースを買ってくるよう頼まれました



燃えるような夏の太陽の下、汗をかきながら、だるそうに歩いて帰って来た自分に大目玉を喰らう



おまえはどうして走らなかった？ ジュースを買いに行くだけなら誰でもできる。そんなもんは「仕事」じゃなくて「作業」だ。お客さんが喉が渴いているから買ってきてくれと言っただろうが。もし、おまえが息を切らしながら汗まみれで買ってきたジュースを手渡したら、そのお客さんはどう思うか考えたか？「そこまでして買ってきてくれて、ありがとう」って、たかがジュース1本でもおまえのことは忘れないだろう。ところが、のんびりとおまえが涼しい顔で手渡すだけなら、結果はどうだ？「ああ、ありがとう．．．」で終わってしまう。どうして自分のことを高めようとしめないのか？ それこそがおまえが自分で生み出せる付加価値だろうが！ 人に物を頼まれるってことは、試されてるってことなんだぞ！ たった1本のジュースといえど相手の予測を上回らんか！ 相手が予想している行動ではなく、想像をもつかない行動で「驚き」と「感動」を提供しろ！



**「頼まれごとは 試されごと」**



**自分のやる気スイッチを「ON」にす**



**人の笑顔を見るために頑張る**



**付加価値がついて自分の価値が高まる**

社会で活躍する上でとても重要なことです。凡事徹底を忘れずに付加価値をつけて、自分自身を財産にできるようチャレンジしてください。また、こうして注意や叱ってくれる人は就職先でもおられると思います。大事にしてください。本当に自分のことを考えてくれている人です。

全ては日常生活の延長線上に結果があります。面倒なことでも嫌がらずに率先して、「何のため」を考えて頑張ってください。

「日々是精進」

